

合格体験記

氏名 H.I.

【合格した自治体(校種・教科)】

愛知県 (中学校・社会)

Q 採用試験に向けて...

① いつから勉強しましたか

9月頃から東京アカデミーの課外講座を受講しました。しかし、あまり合わなかったため後半は欠席しがちになりました。本格的に勉強を始めたのは焦りだした3月です。

② どのような教材を使っていましたか

一次試験

- ・東京アカデミーの参考書と問題集(教職教養・一般教養)
- ・教員採用試験サブノートシリーズ 協同出版

二次試験

- ・差がつく論文の書き方 実務教育出版
- ・東京アカデミーの教科ごとの問題集(中学・社会)

③ 勉強方法

初めは東アカの問題集を解いて答えを覚え、さらに参考書を読み知識を深めました。そして、間違えたところに印をしておき、そこを何度も解き直しました。

途中から友達の勧めでサブノートシリーズを始めました。今、思うとこのサブノートシリーズを初めにしておけば良かったです。これは穴埋め形式になっており、うまくまとめられていて理解しやすかったです。東京アカデミーの問題集でカバーしきれないところもできました。また、本番の試験で法規の穴埋めなどそのまま出題されました。私はこのサブノートシリーズを初めにすることをお勧めします。

④ 一日何時間勉強しましたか

6月の教育実習が始まるまでは3時間程度です。教育実習中は全く勉強できないと思っておいて下さい。教育実習が終わり1カ月前ぐらいになってかなり焦り、これ以降は空いている時間をすべて勉強に費やしました。

⑤ どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

大阪府と愛知県

教職ナビでの面接対策に参加していました。どこの自治体も面接が重視されるので、面接練習をしない日でも見学として参加するよう心掛けていました。

愛知県では一次試験から教科の専門試験があります。愛知県を第一志望にする人は一次から専門試験の勉強をしておかないとまずいです。中学・社会の場合は何もしていないと差が大きく付きます。

⑥ 二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

私が受験した愛知県ではクレペリン、小論文、記述の専門試験、集団討論、個人面接がありました。

クレペリンは対策していません。小論文は一次が終わった後に本を買って書き方を学びました。記述の専門試験は東アカの問題集で勉強しました。集団討論、個人面接は教職ナビの面接対策に参加しました。

⑦ あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

情報がもらえる、面接練習ができるといった面はもちろんですが、何より同じ夢を持つ仲間に出会い、切磋琢磨できたことが大きなことでした。一次試験の当日の朝など仲間と話せたことで、ものすごくリラックスして試験に臨むことができました。この教職ナビで出会った仲間には本当に感謝しています。

⑧ ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか

私のゼミは9月から忙しくなったので特に苦になりませんでした。また、授業は3回生のうちにほとんど終わらしていたので4回生の前期はなかったです。

⑨ バイトやボランティアはどうしていましたか

3回生の夏休み中に中学校へ、4回生から小学校へボランティアに行きました。中学校志望でしたが小学校へボランティアに行ったことにより違った経験ができ、面接でのネタが増えました。

バイトは3回生の夏休みから塾の講師をし、20人ぐらいの生徒に対して授業をしていました。私の中でこの経験が最も大きかったです。週に何度か授業をすることができ、授業の予習で教科の専門試験の勉強にもなって、おかげで専門試験の対策をあまりせずに済みました。教員採用試験中も休むことなくしていました。

⑩ 挫けそうになったときどうしていましたか

自分は本当に教員に向いているのかと悩むことがありました。そんな時に同じ夢を持つバイト仲間やナビの友達が私を支えてくれる存在でありました。また、ボランティアや教育実習の体験を思い起こして自分を奮い立たせました。

⑪ 大学生活中にやっておいたらいいこと

スクールボランティアは経験しておくべきです。できれば志望校種以外も。スクールボランティアをする学生はほとんどですが、違う校種もしておくことで他の受験生と差が付けられると思います。また、毎回その日のうちに体験をまとめておくとういでしょう。この体験が自分の自信にもなりますし、面接では体験を語る事が重要になります。

Q これからどのような先生になりたいですか

自分自身が教師という仕事を心の底から楽しめるようになりたいです。そのために、現場に入ってからでも自分を成長させることができるよう、様々なことを吸収し努力していきたいです。そして、一人一人の生徒の気持ちをしっかり理解し、信頼される教師を目指します。生徒が卒業してもあの先生に会いたいと思ってもらえることが理想です。

Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

「努力の前に成功が来るのは辞書の中だけだ！」 私が大事にしている格言です。

特に中学または高校の社会科を受験される方へ伝えたいのですが、社会科は他教科に比べて例年高い倍率になると思います。3年以内に合格したら成功と言われるほどです。その合格を勝ち取るためにも他人より一層の努力が必要なることを心に留めておいて下さい。もし、今日はサボってしまったと後悔する自分がいたのならそれを補える努力をして下さい。努力をした分だけ花が咲くことでしょう。挫けそうになった時には、自分が教師にならなかつたら、誰が教師になるといった強い思いを持って下さい。この合格体験記を読んでいるあなたは教師になりたいという思いが強いことは間違えないです。未来の子ども達があなたを待っています。